

学習の成果を発表しました 朝日小「学習発表会」



▲学習成果を発表する児童

2月3日、朝日小学校で学習発表会が開かれました。オープニングでは、6年生によるダンス動画が披露されました。その後、学年ごとに教室を分け、3部制に時間帯が分けられ、密を避けるような形で行われました。

児童たちは、学年ごとにこれまで学習してきた成果を劇やテレビ番組風などの様々な形で、一生懸命に発表しました。

参観した保護者の方は、「頑張っている姿が見られて良かった」と感想を話しました。

地区の伝統を受け継いで 明和小学校「伝統芸能発表会」

2月26日、明和小学校で「伝統芸能発表会」が行われました。4年生の「梁取神楽」から始まり、続いて1、2年生の「大倉八木節」、最後は3年生の「小林早乙女踊り」が発表されました。

今年は規模を縮小し、参観は保護者のみでしたが、児童たちが精一杯演じる姿に大きな拍手が上がりました。

「伝統芸能発表会」は、地元の子どもたちが明和地区に伝わる伝統芸能を練習して発表することを通じ、地域での交流や伝統の継承することと、「只見愛を育む教育」の実現につなげることを目的に毎年開催されています。



▲1、2年生による「大倉八木節」



▲3年生による「小林早乙女踊り」



▲4年生による「梁取神楽」

第67回JA全国青年大会 吉津紘二さんが最優秀賞を受賞

2月16日、第67回JA全国青年大会「JA青年の主張」に、吉津紘二さん(黒谷)が参加し、最優秀賞であるJA全中会長賞を受賞しました。

吉津さんは「オールドルーキー」という題で、南郷トマト経営を通じた自身の成長と周りの生産者の方の団結力について発表しました。

受賞については、「全国大会出場が信じられず、とても緊張して膝が震えました。最優秀賞は実感が湧きませんが、今まで支えてくれた方々が喜んでくれたので、良かったです。スタートラインに立った気持ちでまた頑張ります。」と話してくれました。



▲渡部町長に受賞報告をする吉津さん

只見町産のお米で焼酎 ねっか「食糧産業局長賞」受賞



▲渡部町長に受賞報告をする協坂代表社員

2月16日、合同会社ねっかの協坂齊弘代表社員が町長を訪問し、6次産業化推進協議会が主催する令和2年度6次産業化アワードで食糧産業局長賞を受賞したことを報告されました。

今回の受賞は、国内でもまれな全量自社米のみで米焼酎を製造している点や地域貢献への取り組みなどが評価されました。

協坂さんは、「今後も良い商品を作っていきたいです。また只見町の地域づくりに貢献していきたいです。」と受賞の喜びを話してくれました。

教育・文化関係表彰 只見中学生、町内教職員が受賞

2月17日、只見中学校生徒と町内小中学校・只見高校教職員が令和2年度福島県教育・文化関係表彰の受賞報告に役場を訪問しました。

受賞内容は次のとおりです。

- ・児童生徒 団体の部 只見中学校
- ・優秀教職員 個人の部 長澤秀弥先生(只見小)
目黒英樹先生(只見中)
阿部智義先生(只見高)
- ・優秀教職員 団体の部 只見中教職員



▲報告に訪れた生徒、先生方